

令和3年度 完了課題について

課題名	期間	目的	内容	成果の要約
ICT を利用した施設土耕栽培の高収益栽培技術の確立	R1 ～R3	<p>山梨県の施設土耕トマト栽培は、抑制栽培と半促成栽培があるが、価格低迷のため、単価の高い時期に出荷ができる技術が求められている。</p> <p>そこで、ICT 機器を活用し施設内の環境を見える化し制御することで、理想的な栽培環境になるような設備の設定方法を明らかにする。</p> <p>また、抑制栽培と半促成栽培の作型の延長や前進化技術を確立する。</p>	<p>1. 新たな作型開発と安定生産技術の確立</p> <p>(1) 低温越冬による促成栽培技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抑制栽培の延長 ・変温管理の効果 <p>(2) 早期定植による半促成栽培技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半促成栽培の前進化 ・変温管理の効果 <p>(3) ICT モニタリングによる簡易環境制御技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灌水の可視化 ・土壌水分系を用いた栽培実証 <p>2. 新作型のマニュアル化と現地実証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT を利用した管理マニュアル 	<p>施設土耕トマト栽培で、環境制御盤による温度管理や土壌水分計の活用により栽培管理がデータ化でき、収量維持と暖房時間短縮が可能となったこと、また、抑制栽培の延長および半促成栽培の前進化による、収穫期間の伸長を図ることができたことから、課題を完了とする。</p> <p>次の成果情報として取りまとめた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施設トマトの安定栽培のための ICT 機器の効果的活用法」 (R3 成果情報) ・「抑制延長作型と半促成早期定植作型を取り入れた施設トマト栽培」 (R3 成果情報)